

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義

トッランナーが語る 社会課題 —混沌化する世界と変貌する地方

科目情報	総合科目（学士基盤科目）
開設学期・曜日時限	春 BC 土曜日集中 詳細は P8-P9 参照
科目責任者	岡本 直久、土井 隆義 坪内 孝司、松井 圭介

本科目は、一般社団法人日本プロジェクト産業協議会（Japan Project-Industry Council：JAPIC）と本学との連携協定に基づき、平成 23 年度から開設されている科目です。産業界と連携した科目で、これほどの規模の科目は他大学にも類をみない、本学が全国に先駆けて開始した取り組みです。

JAPIC について

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会(Japan Project-Industry Council：JAPIC)は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済、環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目的として活動して参りました。現在43業種220社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。



JAPIC会長
進藤 孝生
SHINDO Kosei
日本製鉄(株) 相談役

開設趣旨

筑波大学とJAPICとの連携協定に基づき、本科目を開設します。

世界では、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、AIやDX等、先端技術の進歩やビジネスモデルの変革などにより、人材・情報・資金が国境を越えて行かっています。同時に国同士は勿論のこと、国内の地域や都市の間でも競争が激化しています。

このため、地球環境問題や資源・エネルギー問題・国家間の安全保障や予期せぬ感染症の流布など、世界にまたがるグローバルな課題に的確に対処していくことが求められています。また、少子高齢化と人口減少が急速に進んでいるわが国で、豊かな生活と産業の発展の鍵を握るのは、地方の活性化であり、地方で活躍し、輝く若い人材が求められています。

この激動の時代を生き抜く学生の皆さんが、「国際社会と地域社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励むためには、この講義で説く『社会の基本的な理論や構造』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会の基本的な理論や構造を探究し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力の向上をサポートします。

具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトッランナーがリレー講義を実施し、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化と地域の日本のあり方」、②「政治・政策」、③「安全保障・憲法」、④「経済・産業」、⑤「環境・資源・エネルギー」、⑥「世界／アジア」（順不同）

また、大学院生を対象に、産業界のトップリーダーによるアドバンスト・ディスカッションコースを開設します。最新の社会、国際、ビジネス等分野の課題を捉え、議論を行い、深く考察していきます。

学生に期待すること

この科目名からの印象は、例えば社会系の講義だろう、自分にはあまり関係がなさそうだな、というものではないでしょうか？しかし、この講義に出席してみると、その印象は徐々に変わり、講義の終盤には、自分の専門分野の社会を通してのかかわりがおぼろげながらもわかってくるのではないかと思います。そして、知識のすそ野が格段に広がったことに気づきます。学士課程の当初に受講する総合科目「学問への誘い」では、各自の専門分野への理解を深めるとともに、そこから広がる様々な分野にも複眼的かつ俯瞰的な眼を養うことの重要性を説いています。この科目は、社会の側から様々な学問への気づきを喚起しようとしています。人の営みは社会を形成しますから、まさにここに光を当てて、産業界・官界で活躍されている世界に挑戦するトッランナーからの現代のホットでリアルな話を、実体験を交えながらお話しいただきます。講義のキーワードである「グローバル化とは何か」、「日本国内におけるグローバル化とは」、「地域社会の発展に何が必要か」について理解し、様々な課題に対して強い関心と好奇心を持ち、グローバルと地方創成の時代に果敢にチャレンジし、活躍できる人材を目指すことを期待します。

世界に挑む産業界・官界 トップリーダーによる 連続リレー講義

(令和7年度)



春BC 【総合科目(学士基盤科目)】トップランナーが語る社会課題—混沌化する世界と変貌する地方

第1回

5/24〔土〕 13:30～16:30

導入講義I

通常
講義

筑波大学における
グローバル人材育成方針

筑波大学 特命教授
学長特別補佐

坪内 孝司

導入講義II

通常
講義

連続リレー講義の意味・意義と
狙い

一般社団法人 日本プロジェクト産業協会(JAPIC)
常務理事

林田 康洋

パネルディスカッション

第1部

グローバル化とは何か？
グローバル化の中で日本は？

第2部

学生は何を学び、
何を身に付けるべきか？

グローバル化とは何か？日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か？産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

パネリスト

株式会社モリアゲ
代表取締役

長野 麻子

パネリスト

国土交通省 国土政策局
総合計画課長

倉石 誠司

パネリスト

一般社団法人 日本プロジェクト
産業協会(JAPIC) 常務理事

林田 康洋

コーディネーター

筑波大学 特命教授
学長特別補佐

坪内 孝司

第2回

6/7〔土〕 13:30～16:30

通常
講義

組織におけるダイバーシティと
人財活用

株式会社日本政策投資銀行
常務執行役員

原田 文代

通常
講義

日本の安全保障環境と防衛政策

防衛省 人事教育局長

青木 健至

社会・経済のグローバル化やサステナビリティへの対応の必要性を背景に、ダイバーシティの重要性はますます高まっている。当講義では組織におけるダイバーシティマネジメント、即ち構成員の多様な特性と個性の組織内への取込み、活用につき、歴史的発展過程及び現状、課題について解説する。また国内外の先進的事例を交えながらダイバーシティマネジメントの効用を明らかにし、将来像を展望する。

わが国を取り巻く安全保障環境は急激に不確実性を増し、防衛省・自衛隊が担う役割や活動の場面も宇宙・サイバー・電磁波まで広がりました。北朝鮮による度重なる弾道ミサイル発射、中国による一方的な現状変更の試みの執拗な継続、新型コロナウイルス感染症に対する活動、大規模な自然災害に対する災害派遣活動、米国をはじめとする諸外国との間における防衛協力・交流など、時事問題を扱いながらわかり易く解説したい。

第3回		6/14 〔土〕 13:30～16:30	
通常 講義	企業経営の現状・課題と戦略	通常 講義	地域資本を活用した地域経営
日本製鉄株式会社 執行役員 人事労政部長 三好 忠満		パシフィックコンサルタンツ株式会社 経営企画部 チーフプロジェクトマネージャー 石崎 晶子	
本講義では、鉄鋼メーカーである日本製鉄の過去から現在までの歴史や取り組みを通じて、日本の製造業が目指す成長戦略や課題について考察する。①「鉄」という素材の多様な特性・魅力②プラザ合理による超円高、中国の台頭、川上・川下業界の再編等の危機をどのように乗り越えてきたか③人口減少による内需縮小、気候変動への対応ニーズの急激な高まり等の環境変化にどう向き合っていくか		地方創生が始まり10年が過ぎたが、少子化は加速し、地方流出、東京一極集中は依然として続いている。「地方創生2.0」が掲げられ、今後も強化されるであろう地方創生。前提として国土全体の中長期目線で、人口移動を正しく理解することが重要だ。その上で、人口減少時代のわが国での、持続可能な地域のあり方とはどんなものか？地域資源を「元手」に地域経営に取り組む各地の事例を紹介しながら、私たちの未来を考えてい。	

第4回		6/21 〔土〕 13:30～16:30	
通常 講義	国際経済と総合商社の活動	通常 講義	グローバル化の変容と日本経済
丸紅経済研究所 研究主幹 重吉 玄德		一般社団法人 共同通信社 論説委員長 永井 利治	
本講義では、激動する国際経済の中で、総合商社がいかに戦略的にビジネスを展開してきたかを解説する。グローバル市場の変化に対応する総合商社の機能と役割を踏まえ、MBAで学ぶ経営戦略や財務管理の概念をわかりやすく紹介する。さらに、総合商社の事例を通じて、国際ビジネスの場で活躍するために必要な知識やスキルについても掘り下げていく。		冷戦終結後に大きく進展したグローバル化は米中対立、ロシアのウクライナ侵攻によって大きく変わりつつある。新たな基軸として登場した「経済安全保障」が実行段階に入り、民主主義陣営と強権国家群の対立は隠しようもない。世界の分断という現実と直面する日本企業はどう活路を見いだすのか。政治、経済、外交を巡る日々のニュースを意識しながら、成長を続けるためのヒントを考えてみたい。	

第5回		7/5 〔土〕 13:30～16:30	
通常 講義	未来のくにづくりを担う皆さんへ	通常 講義	日本産業のありたき姿について
内閣総理大臣補佐官(国土強靱化及び復興等の社会資本整備並びに科学技術イノベーション政策その他特命事項担当) 森 昌文		株式会社みずほ銀行 執行役員 産業調査部長 定岡 祐二	
安全・安心で豊かな国民生活の実現や我が国の持続的な経済成長のため、激甚化・頻発化する自然災害やインフラ老朽化等の国家の危機から国民の生命・財産・暮らしを守り、DX・新技術の徹底した社会実装等によりイノベーションを促進することが求められている。総理大臣官邸で社会資本整備や科学技術イノベーション政策に携わる立場から、我が国を取り巻く現状と課題、未来のくにづくりを担う将来のエンジニアへの期待を語る。		日本は今、不安定な世界(米中拮抗、覇権国不在)、人口減少・高齢化、サステナビリティ実現、テクノロジー変化といった大きな潮流の変化の中に身を置いている。本講義では、日本産業を取り巻く環境の変化と、それを踏まえた日本産業のありたき姿について考察する。	

確認テスト	7/12 〔土〕 13:30～16:10
--------------	-----------------------------

